

教科等研究会（小学校特別活動部会）

令和6年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

よりよい集団や社会の形成に向けた生きて働く力を育てる特別活動の創造

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所		期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
6/21	7名	広安西小学校	8/9	広安西小学校	理論研	10/11	広安小学校	岩崎太貴 教諭	2/7	滝尾小学校	小谷由貴美 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 主題設定の理由

これからの子供たちには、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、豊かな感性を持って自分と周囲の人、各々の生き方を認め合いながら、よりよい社会、よりよい人生をどのように切り開いていくかを自ら考え、実践できる力を身に付けていくことが重要となる。近年、様々な社会的・文化的背景をもつ他者と共に生活することが急速に身近になりつつある。また、実際に他者と対面する物理的空間だけでなく、インターネットなどを通じた仮想的空間での他者との関わりも増え、地域や国という境界を越えて人と人とのつながりが広がっている。この社会の変化において、児童は、多様な他者と関わり、今までに経験したことも見たこともない文化に向かって生きている。このように、人と人の関わり方も変容していく社会において、児童には自立した人間として他者とよりよく協働することができる資質・能力が求められている。そのため、これからの社会で多様な他者と関わり合って生きるためには、寛容さをもち、自己と他者を同時に尊重しながら、異なる意見や考え方をもとに新たな価値を創造的に生み出す力が求められている。

特別活動では、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事等のよりよい集団活動を通して、学校生活を送る上での基盤となる力や社会で生きて働く力を育てていく。よりよい集団活動は、自分と異なる文化、習慣、生き方を認め合う土壌や協働性、集団への所属感、連帯感を育むことにつながる。それが学級文化、学校文化を醸成し、特色ある教育活動の展開を可能とする。

しかし、近年では新型コロナウイルス等の感染症の流行により、当たり前できていた集団活動の多くが制限をされたり、教師の働き方改革を推進するために行事の精選が行われたりしている。行事や集団活動が縮小されている昨今だからこそ、児童が自ら計画実践し、学級、学校をよりよくしていこう、楽しくしていこうという集団活動を提案したい。そして、「友達（他者）と関わること」や「協働すること」の魅力を児童と共に実感できる機会を創造していきたい。

さらに、現行の学習指導要領においては、小・中学校共に（1）の内容を重視することが求められている。合意形成を行いながらよりよい方法で集団決定していく学級活動（1）の内容は、よりよい集団や社会を形成していく上で欠かせないものであり、互いのよさや可能性を発揮し、生かし、伸ばし合う「よりよい集団」を目指している。

以上のことより、研究のテーマを「よりよい集団や社会の形成に向けた生きて働く力を育てる特別活動の創造」とした。学級活動（1）の実践を中心にして、研究を進めていきたい。

② 研究の進め方

○本年度の特別活動の会員数は、7名である。活動を広げていくためにも、夏季休業中に行う理論研を郡内全ての小・中学校へ周知したり、各授業研究会においても参観を促したりしていくことで、特別活動の必要性をより多くの人と共有していきたい。

○授業にあたっては、話し合いが活性化するように児童や教師の思いを大切にして検討・実施していく。

○中学校との連携を図るため、年間に1度は小・中学校合同の活動を行う。

(2) 成果と課題

- 講師を招いての研修では、話し合い活動の留意点だけでなく、係活動の活性化のヒント等も紹介していただき、よりよい学級経営のためのポイントを学ぶことができた。また、他の教育活動との関連として、「特別の教科 道徳」と融合させた指導についても学ぶことができた。
- 6年生での授業では、実際の活動をイメージした意見や自己（個々）の良さを発揮できるような意見など、活発な意見交換を参観することができた。
- 1年生の授業では、発達の段階に応じた司会・記録等の役わり分担や話し合いの進め方等、低学年でも合意形成を目指す姿を参観することができた。
- どちらの授業も互いの意見を大切にしようとする姿が見られ、話し合い活動だけでなく、普段の授業や学級経営で大切にしていることについても共有することができた。
- 児童にとって分かりやすい、思考を可視化した板書の在り方についても研究を深めていきたい。
- 令和8年度の発表に向けて、他の教育活動との関連についても、意見を出し合い研究を進めていきたい。
- 特別活動のよさや必要性をより多くの人と共有するために、研修会を工夫することが必要だった。より多くの先生方へ伝わる通知の仕方やニーズに合った研修内容を検討していきたい。

4 実践事例

(1) 授業の概要（第6学年）

題材名	議題「修学旅行の係がより良くなる工夫を考えよう」					
題材の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、意見を出し合い、比べ合い、まとめるなどの合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。 ○学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見をいかして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。 ○生活上の諸問題の解決や、協働して実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における多様な他者との人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。 					
題材終了時の児童の姿	自分の役割と責任を意識し、学級会の話し合いで決まったことをもとに、だれとでも協力し、助け合いながら主体的に活動に取り組むことができる児童。					
題材を通した学習課題	よりよい学級や修学旅行を目指して、長崎での学びが深まり、学級の仲間と協力し合える「修学旅行の係がより良くなる工夫を考えよう」に取り組もう。					
働かせる見方・考え方	よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し、様々な問題を主体的に解決しようとする事。					
児童の実態	■学力（資質・能力）に関する実態					
	調査内容		とても	まあまあ	あまり	まったく
	友達の発表を、最後まで聞くことができますか。		31名	11名	0名	0名
	自分の考えを発言していますか。		11名	6名	15名	10名
	活動の工夫を考えることはできますか。		14名	21名	7名	0名
	■本題材の学習に関する意識の状況					
	調査内容		とても	まあまあ	あまり	まったく
	学級会が好きである。		16名	21名	4名	0名
	学級会でみんなの意見がまとまってよかったと思うことがある。		12名	22名	8名	0名
	友だちの意見を聞いて、自分の意見を考え直すことがある。		10名	22名	10名	0名
	学級の皆で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う。		14名	17名	8名	2名
	たがいの意見の良さを生かして、解決方法を決めていると思う。		9名	28名	1名	3名

	<p>■考察 (資質・能力に関して) 友達の発言を聞くことができる児童は多いが、一方で発言に対して消極的な児童が6割近くいる。自分の考えに自信をもって発言できるような手立てを打つ必要がある。また、活動の工夫について思考することも苦手な児童が多いので、事前に学級会で話し合う内容を掲示するなど見通しを持たせたり、自分の考えを明確にしたりする取り組みを行う必要がある。必要に応じて教師が介入し、工夫の内容や発言の仕方について見本を示すなどの指導や配慮も行っていきたい。</p> <p>(学びに関して) 学級会が好きであり、みんなで話合いをして意見がまとまっていくことに喜びを感じている児童が多い。一方で、2割程度の児童が、学級会に対する有用感を味わうことがあまりできていない。自分の考えがいかされる経験やみんなで決めてやって良かったという経験を更に積ませていく必要がある。話し合いの進め方としては、学級全体である程度共有化できているところもあるが、学級会の経験の積み上げが少なく全体的な話し合いの進め方や折り合いをつける際の技能面、少数意見の扱い方等を、計画委員会を中心に丁寧に吟味しながら確認していく必要もある。</p>
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が工夫を考えることができるように、修学旅行で心配なことを出し合ったり、修学旅行全体のイメージをつかんだりする時間を設ける。 ○事前に児童の考えを集めておき、それらを計画委員会で分類・整理したものを教室内に掲示し、子供たちに話し合いの見通しを持たせる。 ○前回までの学級会での成果や課題をタブレット端末で各自が振り返り、それぞれがめあてを持って話し合い活動や実践へ取り組めるようにする。 ○事前に学級会シートに自分の考えを記入させ、教師がコメントを入れることで発言に対する抵抗感を減らす。また、個人での発言だけではなく「私たちは」などの意見の出し方を押さえておく。 ○くらべる時間では質問に時間がかかることが予想されるので、答えられない場合は「分からない」と答えても良いということを事前に指導しておく。 ○「私は」を主語に話させ、自分の立場を明確にした上で発言することを徹底する。 ○学級会での話し合いの進め方や、意見の出し方、出された意見に対して自分がどのように考えているかをはっきりさせる姿を目指す。そのために、友達の考えに反応し、つなげて考えているような児童の発言を積極的に取り上げていく。 ○学級会の有用感を味わうためにも実践と振り返りを大切にし、子供たちの頑張りを評価したり、発信したりする。
授業者自評	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートは普段からタブレット端末を使い、これまでの話し合いを振り返ることができるようにしている。 ・発表の仕方や考え方、相談などは自由にしている、各々が考えやすい方法をとっている。(2人で発表、立って考える等) ・提案理由に戻って考えることが足りなかったかもしれない。
協議から	<ul style="list-style-type: none"> ○全員が友達の意見を受け入れながら、自分の意見を伝えようとしているのが伝わってきた。話し合いへの意欲も高かった。 ○司会の進め方が素晴らしかった。マニュアル等もなく、普段からの経験が力になっていると感じた。 ○合意形成の仕方が何通りも見られた。(AとBを合わせる、中間をとる等) ○教師の介入の仕方が良かった。 ○言語環境が良かった。敬語ではなく普段の話し言葉で、私は僕はという自身の考えを伝えていた。 ○小中連携の視点からも、参考になった。自分の言葉で伝える姿を中学校でも伸ばしていきたい。 ●学級目標や提案理由を踏まえた意見がもっと出ると良かった。

(2) 本時の学習

目標 「修学旅行の係がより良くなる工夫を考えよう」に向けて、どのような工夫ができるかを考え、友だちの意見をよく聞いたり、提案理由や多様な意見のよさを生かした意見を出したりして、合意形成を図り、折り合いをつけて話し合うことができる。

第8回 6年1組 学級会 計画			
議題	修学旅行の係がより良くなる工夫を考えよう		
提案理由	6年1組は修学旅行がせまっていて、楽しみにしている人が多い。この修学旅行を思い出に残り、学べる修学旅行にしたい。しかし、そのためにどうするかはまだ考えていない。「修学旅行の係がより良くなる工夫を考えよう」に取り組むことで、楽しい思い出を作ったり、平和や長崎のことについて学んだりできると考える。また、学級目標である、友だちとの仲も深まり、明るくクラスに近づけると思ったからです。		
柱	どんな工夫ができるか。		
めあて	考えていることを発言しよう。		
決まっていること	○お役立ち情報調べ係、6-1グッズ係、バスレク係は全員で協力して行う。 ○バスの中では、シートベルトを着用し、立ったり、動いたりできない。 ○準備期間は15日～28日までの2週間とする。 ○材料などの準備物は学校にあるもので作る。		
過程	学習活動 (◇司会者の発言・予想される児童の発言)	指導上の留意点と評価 (○：留意点、【】：評価)	備考
出し合う	1 はじめの言葉 2 議題の確認 3 提案理由の確認 4 決まっていることの確認 5 めあての確認	○提案者の思いや願い、学級全員の問題であることを確認する。 ○提案理由が際立つような板書に努める。	学級会 セット 学級会 ノート
	6 話し合い (話し合うこと1) どんな工夫ができるか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・バスレクでクイズをすると書いた人に質問です。どんなバスレクを行う予定ですか。 ・集合写真をのせると書いた人に質問です。何枚のせるのですか。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・私はバスレクではクイズをするのが良いと思います。今まで学んだことを復習すれば、より学びが深まると思ったからです。 ・私は6-1で平和を願うバッジを作れば良いと思います。思い出にもなるし、平和のことも考えられるからです。 </div> (話し合うこと2) 役割分担 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【期待される学びの姿】 友だちの意見に反応を返したり、めあて・提案理由・自他の意見のよさに着目しながら、考えを表出したり、建設的に話し合いを進めたりしている姿。 </div>	○話し合いの流れを考えながら、司会グループと一緒に進行をする。 ○意見が出にくい場合は司会者グループに様々な呼びかけなどをしてもらおう。 ○意見の発表に対する反応を示すことで、話し合いへの参加意識を高めさせる。 ○友だちの意見のよさに納得したら自分の意見を変更してもよいことを伝え折り合いをつけながら決定していく。 ○合意形成のプロセスを参考にしながら考えをまとめていけるよう支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【具体的評価規準】 思① 友だちの意見をよく聞いたり、提案理由や多様な意見のよさを生かした意見を出したりして、折り合いをつけて話し合っている。 (方法：観察・学級会ノート) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【到達していない児童への手立て】 思① 学級会ノートに書いている意見を引き出したり、ペアやグループ内で自分の考えを表出したりする時間を設ける (方法：観察) </div>	短冊 カード 学級会 ノート
まとめ			
振り返り	7 決まったことの発表 8 振り返り 9 先生の話 10 おわりの言葉	○前回までの話し合いと比較した話し合いの仕方や態度、発言内容について助言・評価する。	